

宇都宮東ライオンズクラブ旗
第5回栃木県6年生学童軟式野球大会要項

大会テーマ “感謝を胸に全員野球、

1. 趣 旨

この大会を通して、参加する選手及び保護者一同が、競技に参加できる喜びや支えてくれる多くの方々への感謝の気持ちを改めて実感する機会を広く提供すると共に、相互の交流を深め、仲間意識と連帯感を高めることを目的として実施する。

2. 主 催

宇都宮東ライオンズクラブ、栃木県6年生学童軟式野球振興会（大会実行委員会事務局）

3. 後 援

栃木北ベースボールスピリッツ、栃木県おもいでリーグ連合会、

栃木県審判員有志会、株式会社石野内装、有限会社倉谷製帽所（おまかせ屋）、参加チーム保護者会一同

4. 協 賛

社会医療法人中山会宇都宮記念病院総合健診センター、KATAYAMA 株式会社

5. 試合方法

1日目：予選リーグ、2.3.4日目：決勝トーナメント

6. 開催期間

予選リーグ 令和8年2月1日(日)

決勝トーナメント

一回戦 令和8年2月7日(土)

準々決勝・準決勝 令和8年2月8日(日)

決勝戦・3位決定戦 令和8年2月11日(水)（予備日:14日(土)）

注）参加チーム数により大会日程は変更とする

7. 試合会場

参加チーム及び事務局で手配したグラウンドを使用する。

8. チーム編成

栃木県の小学6年生の学童少年野球チームの混合チーム（単独可）とする。

監督1名・コーチ2名・選手:制限なし 注）単一団体が複数参加する際は各12名以上で編成すること。

9. 競技規則

「2025年度公認野球規則」及び本大会「試合方法」を適用する。

10. 代表者会議・組合せ抽選会

日 時：令和8年1月11日(日)17時30分開会 ※受付17時00分

場 所：宇都宮市瑞穂野地区市民センター（住所）栃木県宇都宮市下桑島町1030-1

参加者：代表者、主将の2名

注）会場の定員により参加者数は厳守すること。

11. 開会式

日 時：令和8年1月18日(日)10時00分開会 ※受付9時30分

場 所：栃木県総合運動公園野球場A（住所）栃木県宇都宮市西川田4-1-1

参加者：代表者、主将とその保護者の3名 当日はプラカードを持参すること

注）雨天の際は中止とする。

12. 閉会式（表彰式）

日 時：令和 8 年 2 月 11 日(水) ※第 3 位決定戦・決勝戦終了後

場 所：宇都宮清原球場（住所）栃木県宇都宮市清原工業団地 14 番地

13. 参加申込及び参加費

参加を希望するチームの代表者は、12 月 12 日(金)までに、事務局（栃木県 6 年生学童軟式野球振興会 Instagram）DM 宛に下記①～④の事項を連絡すること。

①チーム名、②選手人数、③代表者氏名、④代表者連絡先（携帯電話）

参加費は無料。ただし、各試合会場にてグラウンド使用料及び審判の昼食代を均等に負担すること。

注）①参加チーム数が上限に達した時点にて締め切りとする。

②事務局は、参加希望チームより DM を受領した際は、確認のため各代表者へ連絡をする。

事務局より確認の連絡の無いチームの参加は認められない。

③本大会に出場する他チームとの二重登録は認めない。事実が確認されたチームは失格とする。

14. 順位決定・表彰について

予選リーグ：最終勝利数の多いチームを上位とする。勝利数が同じ場合は引分け数の多いチーム、全て同じ場合は得失点差とする。

表 彰：優勝，準優勝，第 3 位，敢闘賞 ※優勝，準優勝の選手一同にはメダルを授与する。

15. 服装・用具

- 1) ユニフォームは、従来使用していたチームの物で良いが、背番号は必ず着用のこと。
- 2) スパイク（金属製のものは禁止する）は、必ず着用のこと。アップシューズの着用は可とする。
- 3) 打者・次打者・走者・ベースコーチは、JSBB 公認の両耳付ヘルメット、捕手は、公認マスク・プロテクター・レガース・捕手用ヘルメット・アンダーカップを必ず着用のこと。
- 4) 監督・コーチもユニフォーム又はスポーティな服装とする。

16. 保険・健康管理

- 1) 本大会に関わる一切の事故・負傷については、各チームの責任で対応すること。
- 2) スポーツ障害保険等の加入は各チームで手続を行うこと。
- 3) 各チームの監督・コーチ・代表者及び保護者は、責任を持って選手の体調を把握し、大会に臨むこと。

17. その他

- 1) 本大会は、親交を深める目的であり、競技中に相手チームが不愉快になる様な行為・言動は慎み、感動的なプレーを称賛し、選手達に暖かい応援を心掛けること。
- 2) 審判員の裁定に対し、暴力行為や暴言、侮辱行為を伴って異議を唱える者は、退場に処する。
- 3) 大会期間中の全ての連絡は、参加するチームの代表者にて構成するグループ LINE を通じて周知する。
- 4) グラウンド責任チームは、リーグ戦結果報告書（Excel）を、当日中に事務局まで報告すること。
- 5) グラウンドコンディション不良等による中止の場合は、必ず事務局に報告すること。ただし、自己都合（他の大会や行事との重複等）による中止及び延期については認めない。
- 6) ゴミは全て持ち帰り、特にタバコのポイ捨ては、絶対にしないこと。
- 7) その他、不明な点は、下記 QR コードより事務局 Instagram から DM にて問合せすること。

※別紙 試合方法、ガイドラインも併せて確認してください。



THE6THGRADEBBL.TOCHIGI

栃木県 6 年生学童軟式野球振興会
大会実行委員会事務局

宇都宮東ライオンズクラブ旗
第 5 回栃木県 6 年生学童軟式野球大会
試合方法

1、組合せ

予 選：開会式において、各チーム主将による抽選にて決定する。

決勝 T：予選結果により、トーナメント表へ反映する。

2、試合会場

参加チーム及び事務局で手配したグラウンドを使用する。

3、使用球・距離

使用球：M 号球（再利用球を可とし、新球に限らない）

距 離：一般距離

4、試合方法

予 選：1 日 2 試合のリーグ戦とする。予選上位 2 位チームが決勝トーナメントに進出する。

決勝 T：予選上位 16 チームによるトーナメント戦とする。

※試合会場では密にならないよう考慮すること。

5、試合時間

1) 第 1 試合／9:00 開始を基本とするが、試合会場の開場時間、グラウンドコンディション等により、責任チームの判断で調整すること。

2) 7 回戦とし、試合の成立の回数に関係なく 90 分を基本として、下記のとおり進行する。

1 先攻の攻撃時に 90 分を経過した場合は下記のとおりとする。

先攻リード：後攻の攻撃が終了した時点で試合終了とする。

後攻リード：先攻の攻撃が終了した時点で試合終了（×ゲーム）とする。

2 後攻の攻撃時に 90 分を経過した場合は下記のとおりとする。

先攻リード：後攻の攻撃が終了した時点で試合終了とする。

後攻リード：90 分を経過した時点で試合終了（×ゲーム）とし、90 分以内の得点を認める。

※天候や治療により試合が中断した際は、ロスタイムとして時間を止めること。

※主審より遅延行為と指導された時間帯については、ロスタイムとする。

※決勝トーナメントタイブレイクについては、3) 決勝の要領による。

3) 予 選：同点の場合、延長戦は行わず引分けとする。コールドゲームは適用しない。

決勝 T：3 回を終了して 15 点差を生じた時は、5 回を終了して 7 点差を生じた時は、コールドゲームを適用する。ただし、決勝戦についてはコールドゲームを適用しない。

同点の場合は、時間内でも延長戦を行わずタイブレイク方式を適用し勝敗を決する。

＊タイブレイク方式：継続打順とし前回の最終打者を一塁走者として、二塁走者は前の打者とする。つまり無死一塁、二塁の状況で 1 イニングを行い、得点の多いチームを勝ちとする。この場合、通常の延長戦同様、規則によって認められる選手の交代は許される。尚、1 イニング行ったが勝敗が決しない場合は、抽選（ポジションによるくじ引き）によって勝敗を決する。

《抽選手順》

1 審判員及び試合の終了時に出場していた両チームのメンバーが、終了挨拶の体形で最終打席順に整列する。

2 ○印・×印を各 9 枚記入した用紙を封入した封筒を用意する。

3 球審が 18 枚の封筒を扇形に持ち、先攻チームより交互に選ばせる。

4 二人の審判員は両チームの選んだカードを集め、選手をベンチに戻し、両監督に相手チームの開封に立ち会わせる。一塁審は一塁側、三塁審は三塁側のカードを集める。二塁審は、球審の補助をする。

5 ○印の多いチームを抽選勝ちとする。尚、立ち会う監督に諸動作で事前に勝敗がわかる様な仕草をさせない。

6 全選手を整列させ、球審が勝ちチームを発表し、「ゲーム」を宣告する。(○×の数で「何対何」と言わない、勝ちチームはAなら「A」と宣告する)

4) 出来るだけ 15:30 頃には全試合を終了し、試合会場整備後、速やかに解散すること。

6、投手の投球制限

投手の投球制限は 1 人 1 日 5 回とし、選手への負荷を考慮すること。

7、特別代走について

本大会については、投手及び捕手の準備時間の確保や、控え選手の出場機会を設けることを目的とし、投手・捕手の出塁時には、**特別代走をグラウンドに送ること。**

特別代走を起用する際は、打者の出塁を確認した上で、主審に交代を告げること。

*特別代走：控え選手を起用することを基本とする。代走に出ている選手は、負傷等の特別な理由がない限り、出塁中の途中交代は認めない。

控え選手がいない場合は、既に交代した選手及び臨時代走に該当する選手を起用する。

注) 投手・捕手は、攻撃終了後は特別代走に代わり、試合に復帰することができる。

8、結果報告について

グラウンド責任チームは、各試合終了次第、速やかに事務局までグループ LINE にて報告すること。

また、試合結果報告書 (Excel) を、当日中に事務局までグループ LINE にて提出すること。

※写真付きメール可

9、順位 (成績) について

予 選：最終勝利数の多い上位 2 チームを予選通過とする。勝利数が同じ場合は引分け数の多いチーム、全て同じ場合は得失点差とする。(勝ち：3 点、引分け：1 点、負け：0 点)

決勝 T：優勝、準優勝、第 3 位、敢闘賞を表彰する。

10、選手の起用について

予 選：1 日 1 チーム 2 試合を行うため、登録選手は必ず全員出場させ、出場機会も出来るだけ均等となるよう配慮すること。

決勝 T：登録選手の出場機会が出来るだけ均等となるよう配慮すること。

11、責任チーム

1) 基本的に試合会場提供チームがグラウンド責任チームとなり、試合会場の準備を行い、開始時間及び進行方法を決定すること。また、各チームから公式審判員の昼食代の取りまとめ及び用意を行うこと。

2) 抽選に使用するくじについては、グラウンド責任チームにて、○×各 9 枚を記載した用紙を封入した封筒を用意すること。

3) 試合中の事故やトラブルについては、グラウンド責任チームの判断に基づいて対処すること。

※事務局手配の試合会場の場合はグラウンド責任チームを事務局にて決定する。

グラウンド責任チーム以外のチームは試合会場の準備や整備等に協力し、サポートを心掛けること。

※その他不明な点は事務局に問い合わせること。